

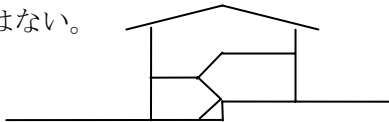
申込みに当たって（チェック用紙）

申込者 氏名



*この用紙は受付窓口にて確認をしますので、必ずすべての内容についてチェック欄が「○」又は「該当なし」を記入していることを確認したうえで、申込書と一緒に提出してください。

1 『耐震診断補助対象建物』 の確認

NO	内容	チェック欄
1	建物は、昭和56年5月31日以前に建築又は着工されている。	
2	建物は、木造一戸建てまたは長屋建てである。※1 (鉄筋コンクリート造の車庫等が地階すべてにある場合を含む)	
3	建物は、平屋、2階建て、又は3階建ての住宅である。 (併用住宅の場合、住宅部分の面積は延べ面積の1/2以上を占めている。)	
4	建物の全ての階の床面積の合計は200平方メートルを超えていない。※2	
5	建物は、右図のようなスキップフロア形式ではない。 ※スキップフロアとは、建築物の同じ空間の中で 階段を介して床の高さが変化する構成のもの。	
6	増築している場合、鉄骨造（一部鉄骨の梁や柱を含む）又は鉄筋コンクリート造の部分はない。	
7	建物の大きな増改築はしていない。	
8	建物の耐震改修（補強）はまだ終わっていない。	
9	京都市の耐震診断を受けるのは今回が初めてである。	

※1：枠組壁工法及び軽量鉄骨等によるプレファブ住宅は、対象になりません。

※2：長屋の場合、各住戸の延べ面積が200平方メートル以下かつ1棟の延べ面積が500平方メートル以下。伝統的建造物群保存地区の場合、は500平方メートルとなります。

2 『申込書類』 の確認

NO	内容	チェック欄
1	申込者は建築物の所有者ですか。	
2	「申込書」に捺印しましたか。	
3	「申込書」に連絡が取れる電話番号を記入しましたか。	
4	長屋（隣家と壁や屋根を共有するもの）の場合、所有者全員の「同意書」がありますか。	
5	貸家の場合、借家人全員の「同意書」がありますか。	
6	付近見取図（住宅の所在地がわかる住宅地図等）はありますか。	
7	略平面図（縮尺1/100程度で間取りがわかるもの）はありますか。※3	
8	増築している場合、上記平面図に増築部分が記されていますか。	
9	外観写真を撮影したものを添付しましたか。	

※3：建築確認通知書がある場合、図面が添付されていますのでコピーして提出してください。

無い場合は、柱、壁等がわかる程度の間取り図を手書きで作成してください。